

東浦町教委との話し合い 2022年10月4日(火) 16:00～ 於東浦町役場

長＝庄子亨教育長 委＝東浦町教育委員会 松尾統央指導主事

組＝知教労 市野司副委員長(西部中) 池田博 中部支部長(石浜西小) 岡崎良久書記長(旭東小)

勤務時間・労働条件について

①超過勤務の上限規制について

組 月45時間、年360時間の超過勤務上限規制の現状は？

委 苦しいが何とかしたい。小学校は課外活動の大会をやめた。

長 タイムレコーダーで前日どれくらい遅くまでいたかを管理職が確認し、本人に声かけするよう校長会で話した。

組 勤務校では半月で22.5時間超過者に紙を配っているが、持ち帰り業務が増えている。

組 超過が減らない原因は追究しているか？

長 若い先生は授業準備。宿泊行事等の準備。

組 昨日勤務校での学校訪問で、町教委から「1年(の超過上限)720時間」と発言があったが根拠は？

委 東浦町が令和3年4月1日に策定したもの。(「東浦町立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する方針」)基本的には月45時間、年360時間をクリアしたい。

組 学校訪問での、教育長の「子どものためにもっと教材研究せよ」という言葉は激励の反面、教材研究に余計に時間を割くようにとも聞こえた。

長 働き方改革は授業の充実のためだ。指導要領では子どもの自主的な学習を促すことになっている。先生が授業準備を事細かくする必要はないと思う。

組 私は空コマ週2時間のみ。週3で6限の後「ことばの広場」。終業までの僅かな時間で教材研究は無理。業務削減を伴わない「子どものために教材研究を」は理想論にすぎない。

長 45分の半分を子どもに発言させるような授業で、話し合える子どもを育てたい。やり方も授業観も変える必要がある。

組 経験の少ない先生は教材研究の基礎を作る時間は必要。

組 「働き方改革で授業充実を」は正論だが、現状は時間内に教材研究ができない。超過ゼロで「理想実現」といえる。

②休憩時間について

組 休憩が取れない現状では「在校等時間」から7時間45分を引いて超過を算出すべきだが、休憩を「取れたもの」として、生路小以外は8時間半を引いている。土日が平日の設定になっており、土日に働いても「時間外0」と記録される学校が複数ある。滋賀県日野町教委が休日の勤務記録削除を指示し問題となったが、それと同等の不祥事レベルの話だ。

委 今後はタイムレコーダーからC4thを利用し在校等時間を把握するようにしていく。その際には休憩が取れなかった場合も入力できるようになる。

③その他

組 「1年単位の変形労働時間制」の導入予定は？

委 ない。

組 割振り対象は「校長が認めるもの」、割振りの消化は「本人が取りたいときに取れる」で良いか？

委 それでよい。

組 知多の友や数学のリープなどの編集を行っている教職員会や知教研等の他団体への加入は教員の任意であると周知してほしい。西部中は周知された。

長 「入れ」と言っている学校はないと思う。

組 「入れ」とは言わずとも「皆が入っているから入る」のが実情だ。「任意です」と言ってほしい。

委 各校でしっかりと対応するようにしていく。

組 「若あゆ日記」の出張は丸一日拘束で他の先生が影響を被る。子どもたちの作品を掲載する「教育的意義」はわかるが、現場で教える先生が足りずに、何の「教育的意義」か？

組 「旅行届」は無くなったのか？

委 「出せ」とは言っていない。今は携帯で連絡がとれる。

組 なぜ日直の輪番に校長・教頭が入らないのか？

委 各校で決めることだ。

組 東浦は再任用ハーフ2人で1学級担任はないか？

委 東浦ではない。そうならないようにしたい。

長 担任の欠員は無い。知教協も欠員をよしと思っていない。

組 教務・「校務」が担任を兼務し、多忙になっている。教務・「校務」の業務を減らすべきだ。

組 宿泊行事等でのバス内の休憩はやめてほしい。

委 その通り。

長 私が西部中校長の時、バス内は休憩を設定しないように話していた。その分は割振りに対応した。

学校訪問について

組 指導案A4一枚は継続の方針か？

委 各校で決めてもらえばいい。

組 学校訪問で出退校記録を提出させているか？

委 毎月の勤務は把握しているので、学校訪問でということ

はない。

組 コロナで学校訪問が軽くなったのが元に戻ってきている。指導案検討を何度もやる必要があるのか？指導案はレシピアで、授業は料理。レシピアを書くことにどれだけ時間や精力を割いても、料理がおいしくなければ仕方がない。

組 教務主任によってずいぶん違う。所見も同じ。昨年通りに出すとダメと言われる。真っ赤にして返してくるので修正で時間が取られる。所見は「懇談で済み」にしてほしい。

委 指導案は現職教育のための良い機会と思うが、体裁や語句を整えよ、という感覚はない。A4一枚にしたのは重点を捉えればよいということ。

長 私が現場のときは指導案重視ではなかった。

委 A4一枚でも一枚でなくても、バラバラでもいい。

組 上半分は略案で下半分は板書計画でも良いか？

委 いろいろな形がある。

長 統一した型式である必要はない。授業で何をやりたいかをしっかりするべき。

委 特支では個にスポットを当てた指導案の方がいい。そうであれば他の人と同じ形式にはならない。

長 形式は各校で決めればよい。「その形式ではやりたい授業が書けない」というなら教務と交渉すればいい。

委 A4一枚になった時に教委から例は示したが、それにこだわる必要はない。

GIGA スクール構想・ICT について

組 ICT 支援員は入るか？

委 予算の関係もあり断言できないが、努力はする。

組 タブレット端末の持ち帰りはオンライン授業を想定か？

委 オンライン授業は考えていない。持ち帰りで学校とのつながりは考えていきたい。目的意識が明確ならいいが、単に持ち帰るだけでは意味がない。

組 C4th の成績処理が非常に難解。堪能な人がエクセルのシートを作って、皆それに頼っている。

委 業者に改善要求する。しっかり評価することが重要で、C4th を使わなければならないということはない。お金をかけたのでC4th を使ってほしいという気持ちはある。

組 タブレット端末が非常勤には複数人に一台しかない。

委 授業者が1人一台持てるようにしたい。

組 欠席連絡や配布物のデジタル化の動きは？

委 準備はしている。

労働安全衛生法の適用について

組 各校で衛生委員会は開かれているか？勤務校は主任者会で全員の月の超過時間を確認している。

組 校内衛生委員会の議事録を学校訪問でも提出させるべき。勤務校は職員が50人以上いるが、衛生委員会が開かれていない。週1回勤務の人も50人の中に入れる。会議が増えるようだが、超過の原因を探り業務削減するために重要。

部活動について

組 地域部活動はどうなっているか？

委 話し合いを進めている。休日の部活動の地域移行については最短で来年夏。

組 学校はレク部活、地域は競技部活と聞いたが。

委 土日に参加する子を中心に、大会に参加していく仕組みを考えている。確定はしていない。

小学校の水泳指導について

組 校外での水泳授業が今年は1日2学年になり更衣室が密になる。マスクを取って子どもたちは話している。

委 教委としては校外水泳は今5校だが7校とも委託したいと考えている。学校で行うよりも運動量が上がっているので、5回を4回にしてもいいかもしれないと考えている。

組 泳力重視になっており、指導要領とずれがある。低学年は本来水遊びが水泳指導ということになっている。

特別支援教育について

組 県教委特別支援課にも確認したが①「自・情学級要録の評価の数値化を一律に行う」②「入級決定の際、療育手帳のある子は一律に知的学級に入れる」ということはせず、個々の実態に応じて行う。③「自・情学級の学習課程は『学年相応を行う』はあくまで『原則』であって『下学年の教科の目標に替える』ことができる」ということでよいか？

委 個々の実態に合わせるのが大前提。その子にとって何が幸せかを見極め、保護者と歩調を合わせてやってほしい。

その他

組 特別教室のエアコン設置は考えているか？

委 まだ動いていない。

組 新制服は幅広く意見を聞いてほしい。熱中症対策としてポロシャツのように裾を出せるようなものはどうか？アロハシャツやかりゆしウェアのように暑い所は正装もシャツを出す。

委 シャツを出すだけで体温が下がると聞く。プロスポーツでも出すデザインがある。

組 学校では今だに「体操服しまえ」と指導するが、大学の先生は「運動中は出せ」と言っている。制服の袖まくりも「ダメ」と指導する学校もあるが、体温調整だから、「出す・出さない」「まくる・まくらない」も自分で決められるようにしたい。

長 そこを自分で決められる子を育てたい。

以上